小野路公園グランドの適正化を

齋藤祐善（民主党・社民・ネット）

問　同グランドの芝生と照明設備は設置者である市が行うべきところ、民間ＮＰＯと営利会社の資本で整備し、特定の事業者に所有権と無料利用権を付与している現状を改善せよ。

加藤副市長　今現在の仕組み自体は、きちんと適正にやられているものだと感じておりますので、ご理解いただきたいと思いますが、見直す部分があれば見直しはしていきたいと考えています。

問　指定管理者に不利な取引を強要するな。

加藤副市長　今回の整備につきましては、市と指定管理者、設置者の協議に基づいてやったもので、決して強要するとか、そういうことにはなっておりません。少なくとも三者で協議した結果ですので、優越的な地位を濫用したとは考えておりません。

小野路公園グラウンド

ごみの資源化／商店街の活性化

白川哲也（諸派）

問　ごみ焼却施設が稼働から二九年経過しているが、今後のごみの資源化施設についての見解を問う。

鷲北副市長　町田市資源循環型施設整備基本計画検討委員会を立ち上げ二年以内を目途に施設整備の基本計画を策定すべく取り組んでいます。

問　商店街活性化の現状の取り組みと課題は何か。

経済観光部長　新元気を出せ商店街事業補助金を中心にやっています。商店街直接の支援は難しいと思いますが商工会議所と連携しながら支援していきたいと考えています。

問　団地内等における商店街活性化のため、市が積極的にＵＲ等関係団体への働きかけを行うことを求める。

経済観光部長　団地再生という視点の中でも商店街が活性化すると地域が活性化していく、一緒に話をしていきたい。

単位老人クラブ補助金の増額を

谷沢和夫（民主党・社民・ネット）

問　単位老人クラブへの活動加算補助金については、会員数の多いクラブほどその補助が増える仕組みにすべきだ。

市長　老人クラブ連合会とこれからも打ち合わせをして考え方をまとめていきたいと思っています。

問　テレビの音声が厚木基地のジェット機騒音によって妨害されている。町田市もＮＨＫ受信料助成制度の適用を。

政策経営部長　ＮＨＫ放送受信料の助成金につきまして、適用されるべきであると考えておりますので、渉外関係主要都道県知事連絡協議会から拡大要請をしています。

問　直葬及び少人数葬儀の相談受付窓口の新設を。

市長　相談等については、ある程度実行できていると思います。ただ、少しきめ細かくということですので検討させていただきたいと思います。

本年七月の市庁舎移転について

三遊亭らん丈（自由　民主）

問　間もなく竣工し、本年七月に予定されている新庁舎への庁舎移転について、整備状況と市民への周知を問う。

鷲北副市長　東日本大震災により若干工程に遅れが生じましたがその遅れを取り戻しながら七月開庁を目指しています。今後は移転についてのポスター作成、チラシの配布、横断幕の掲示等も実施し市民への周知に努めていきます。

問　市内農業の活性化に向けて、農業の発展に寄与する事業に更なる援助を望む。

経済観光部長　新たな農業振興施策を考えていきたい。

問　町田市民病院の充実に向けて、病理医とともに薬物療法医も配置することを望む。

市民病院事務部長　抗がん剤の治療については非常に増加をしています。基本的には対応ができていると考えております。

介護保険料の上昇抑制を求める

佐々木智子（日本共産党）

問　来年からの第五期介護保険事業計画の保険料改定では、基金取り崩しなどで上昇抑制を図られたいがどうか。

鷲北副市長　介護給付費準備基金と東京都設置の財政安定化基金を活用の予定です。

問　生涯学習センターに設置する運営協議会には、利用者の声を反映する市民委員枠を多くすべきだがどうか。

生涯学習部長　公民館運営審議会等からも市民枠をふやすよう意見もいただいており、その辺も考慮しながら決めていきたいと考えています。

問　木曽山崎団地地区まちづくりの進捗状況はどうか。

市長　既に二回の協議会が開催されており、アンケート調査の結果をもとに、課題の検証が行われ、三月までに木曽山崎団地地区のまちづくりの構想案と学校跡地の活用案を取りまとめる予定です。

子どもの成長守る教育・福祉を

細野龍子（日本共産党）

問　小二の三五人学級のスムーズな実施を求める。

学校教育部長　義務標準法及び東京都の学級編制基準が改正になった場合には、速やかに対応するよう準備を進めているところです。

問　給食の民間委託化で栄養士は調理室に入って指示できるのか。

学校教育部長　給食調理室に入り、細かい指示をすると自体はできないと思っています。ただ、カバーする意味で調理業務についての仕様書、そういうものを整備してやっていきたいと思っています。

問　自立支援法改正に伴い放課後等デイサービスに移行が必要な障がい児施設が継続できるよう支援を求める。

地域福祉部長　東京都と連携しまして、きめ細かな支援をしていきたいと考えております。

地域の安全・安心を守れ！

若林章喜（諸派）

問　体感治安を改善させるために取り組んでいる事は。

防災安全担当部長　町田警察署等との協働による違反看板の撤去、合同パトロールを実施し市民の目に見える活動をすることによって体感治安の改善を図るということです。

問　永く被災地復興支援を続けていくためにも、三月一日に、市をあげて支援に取り組んではどうか。

市長　支援をするような企画、そういったものを市民の皆さん、企業の皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

問　新中長期計画について進捗管理を問う。

鷲北副市長　まちづくり基本目標では基本政策ごとに未来づくり指標を挙げ、行政経営基本方針では基本方針ごとに経営改革指針を掲げ進捗管理を行うこととしています。

安定した財政運営を目指して

熊沢あやり（志政クラブ）

問　震災時、帰宅困難者のため、市民ホールを使用し、使用料約四〇万円を支払っているが、他施設も同様なのか。

鷲北副市長　市民ホールについては免除規定がないので、お支払いしました。今後、地域クラブ等の利用という形になれば、当然免除規定が必要だろうと思います。

問　四月より新公会計制度を導入するが、職員の理解度はどうか。

財務部長　専門研修等を含めて理解度の習熟に努めていますが判定は行っていません。理解度、習熟度等の確認方法は工夫して実施していきたい。

問　新公会計制度導入のメリット・デメリットは。

財務部長　メリットは説明責任を果たすこと、意識改革、行政経営改革を図ること。デメリットは導入していない他市との比較が難しいことです。

高齢者の困りごと支援を！

宮坂けい子（公明党）

問　電球の交換や、重い物の移動等、日常生活のちょっとした困りごと支援を求める。

いきいき健康部長　シルバー人材センターがサービスの事業化を検討しているところで、市は、運営、広報活動など支援を行っていきます。

問　太陽光発電の更なる利用促進策や、地中熱ヒートポンプの助成制度など、新たな自然エネルギー利用促進対策を求める。

環境資源部長　太陽光、太陽光以外の自然エネルギーを活用したシステムの補助の拡大のところで今考えており、地中熱に関しては、今後の検討課題と考えています。

問　分かりにくい病院の言葉を分かりやすくする工夫を。

市民病院事務部長　医療用語の日常語への変換、正しい意味を明確に伝える工夫や活用の検討を進めています。

南町田駅を平日も急行停車駅に

友井和彦（諸派）

問　議会が決議した幼保小中学校、公園等の土壌や牛乳を含む学校給食の放射性物質の測定を求めたことに関し、今後どう対応するのか。

鷲北副市長　著しい高線量が測定される場所がこれまでの測定では確認されないため放射性物質の含有量に関する調査は実施していませんが必要があれば検討していきます。

教育長　小学校が個別に給食を実施している状況等を踏まえ、町田市として望ましい測定方法を選択するために検討を進めるところです。

問　北口駅前広場や国道一六号町田立体、南北道路等、今後整備が続く南町田駅を平日も急行停車駅にする様東急電鉄社に求めては如何か。

都市づくり部長　乗降客数の増加が見込まれ、その動向を踏まえて東京急行電鉄株式会社に働きかけていきます。

東急田園都市線　南町田駅